

田中ゆうたろう区議による、私たちの政治活動への妨害——事実経過と私たちの見解

無所属の杉並区議会議員・田中ゆうたろう氏が1月18日付けブログで「日本共産党の活動員から脅迫と暴行をうけました」という記事を掲載していますので、経過をご説明します。

1月17日早朝、酒井まさえ日本共産党杉並地区・医療介護対策室長が、京王井の頭線永福町駅前前で政策をうったえているときに、田中ゆうたろう氏から妨害を受けました。田中氏は「酒井まさえさんは公職選挙法違反である」と言いがかりをつけ、スマートフォンで執拗に酒井氏の動画を撮影し、酒井氏の前に立ちはだかりました。その行為を30分にわたって続け、酒井氏と、一緒にいた共産党の後援会員と党職員が「政治活動の妨害はやめよ」と抗議しましたが、やめず、執拗に動画を撮影し続けました。田中氏の行為は、私たちの自由で正当な政治活動への妨害です。

あまりのひどさにたまりかねた党の職員が「そこの交番へ行こう」と言って、目の前の交番へ2人で歩いて移動しました。交番の警察官も「動画の撮影はやめてもらえますか？」と言い、やっと田中氏は撮影を中断しました。

田中氏を交番へ促したときに、党職員が田中氏の右上腕を服の上から手をかけたことは事実ですが「右腕を強く捕まれ、ねじられたまま、数メートルひきずられました」とブログに書いていることは、明らかに歪曲です。また田中氏が「痛い。手を離せ」と言ったことに対しては、党職員はその場で謝罪しています。

以上が事実経過です。後日田中氏は動画を公開しましたが、交番の警官から動画撮影をやめるよう言われたことを隠すなど、意図的な編集がされたものです。そこでも暴力の事実はありません。

私たちはあらためて田中ゆうたろう議員による、日本共産党の正当な政治活動に対する妨害と、事実をねじまげた日本共産党への攻撃に抗議します。日本共産党は、今後も正々堂々と政策をうったえて活動していきます。

2019年1月31日
日本共産党杉並地区委員会